

施策1-2-5 安定した暮らしと人権を守ります

10年後のめざす姿

- 区民の基本的な人権が尊重され、一人ひとりがお互いの違いを認め合い、共生しながら、それぞれが幸福を最大限に追求し、自己実現を図っています。
- 区民が安心して暮らせる生活基盤の確保や就労の支援、福祉施策が整備されています。

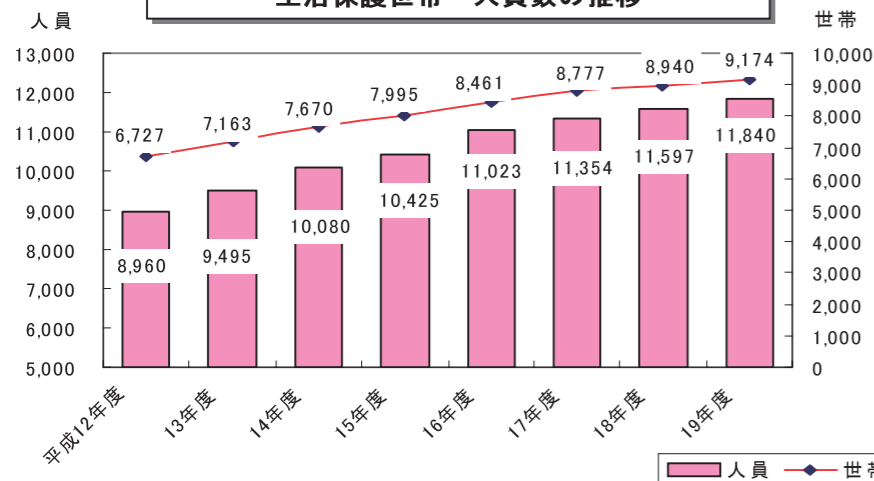
施策の指標と目標値

モノサシ(指標)	現状	平成25年度	平成30年度
暮らしやすさに満足している区民の割合	77.6%	80%	85%
職場における女性の地位が平等であると答えた女性区民の割合	13% (平成16年度)	25%	30%

現状と課題

- 大田区の生活保護受給世帯は5年間で約20%増加。区民一人当たりの年間給与所得も5年間で約7万5千円下落し、所得の低い世帯が増加
- 生活保護受給者や低所得者、ひとり親家庭などが自立して生活するためには就労、住宅の確保などの支援が必要
- 出産を機に7割の女性が離職し、再就職を希望してもできない人も多く、女性の就労環境は依然として厳しい状況
- 誰もが生きがいをもって暮らしていくためには、就労による経済的な自立、性別や年齢を問わず、個人が多様な働き方・生き方を選択できる社会の実現が不可欠

生活保護世帯・人員数の推移



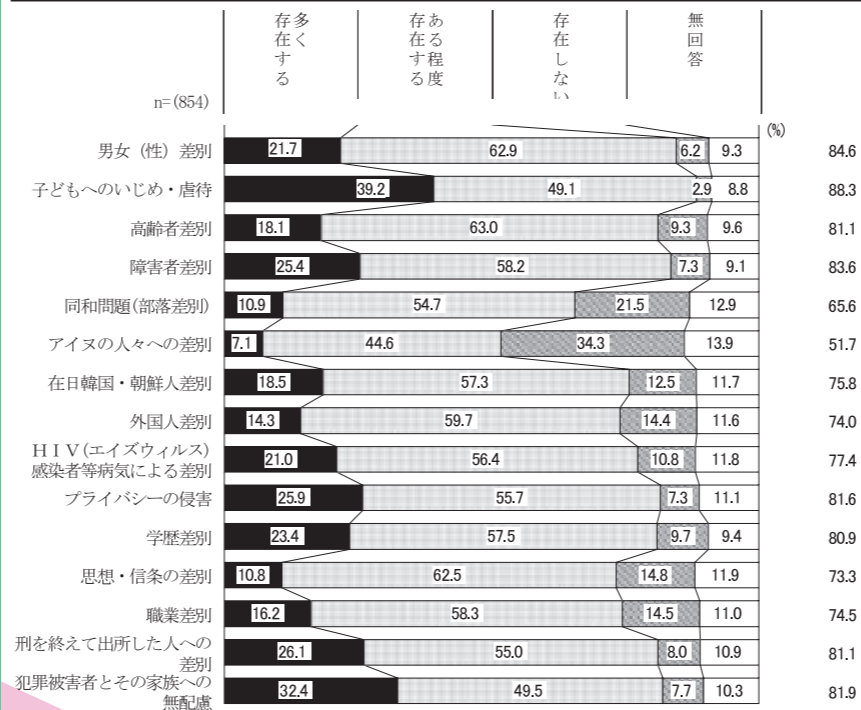
出典：大田区の数字、大田区政ファイル

施策の方向性と主な事業

① 人権の尊重

- 偏見や思い込みからのあらゆる差別をなくすための啓発
- 性別や、年齢、国籍などを問わず、お互いの人権を尊重し合いながら生活できるまちづくり

現実の社会で、人権問題・差別による人権侵害が存在すると思いますか。



② 男女共同参画の推進

- 男女が対等な立場であらゆる分野に参画して責任を分かち合える男女共同参画社会の実現
- 女性の就労環境の向上やスキルアップ

女性の就労支援(再チャレンジなど)

- 就労を希望する女性や子育て等で離職した女性が、意欲と能力を活かして再就労や起業にチャレンジできるよう支援
 - 女性のための就労支援(スキルアップ講座の実施・情報提供)
 - 働く女性のための相談
 - 「ワーク・ライフ・バランス」の啓発

③ 生活安定化のための支援の充実

- 生活基盤を維持し、連携した就労支援体制の整備
- 低所得者、ひとり親家庭及び生活保護受給者の自立支援

就労・自立支援事業の推進と自立支援ネットワークの構築



④ 暮らしを支える仕組みづくり

- 生活に困難が生じた際の相談機能の充実や、ひとり親家庭等への各種支援事業の実施
- 生活基盤を支える施策の推進

母子自立支援

相談体制の充実

施策1-3-1 高齢者がいきいきと暮らせるまちをつくります

10年後のめざす姿

高齢者が健康で自立した生活を営み、かつ、地域の一員として多様な世代と交流し、経験や知識を活かして、生きがいを持って生活しています。



施策の指標と目標値

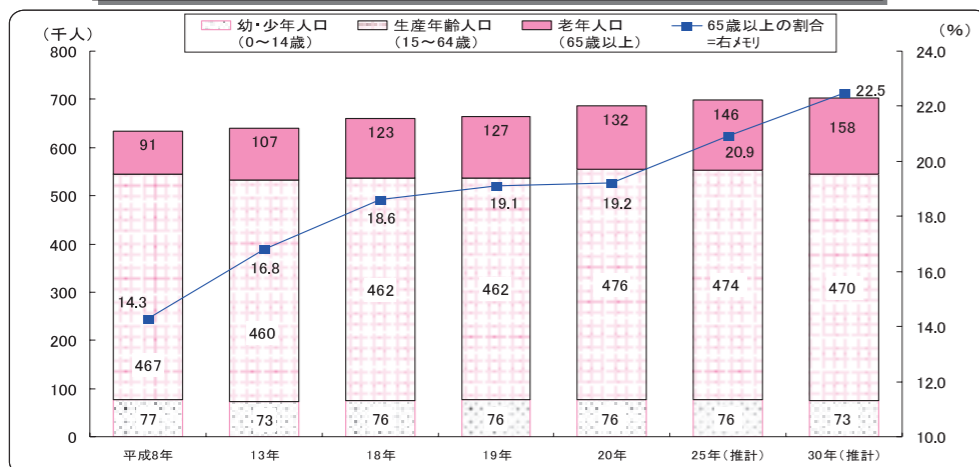
モノサシ(指標)	現状	平成25年度	平成30年度
住んでいる地域に愛着を感じている高齢者の割合(意識調査)※	81.6%	83%	85%
ボランティアなど地域や地域の人を支える活動に参加している高齢者の割合(実態調査)※	12.2%	13%	15%
何らかの形態で就労している高齢者の割合(実態調査)※	39.1%	42%	45%

※調査対象は60歳以上

現状と課題

- 大田区の人口全体に占める65歳以上の高齢者人口の割合は平成20年で19.2%、今後10年間で22%超に上昇する見込みであるが、現状は8割以上の高齢者が自立して生活
- 少子化の影響で労働力人口が減少するなかで、各世代が社会の一員として特性に応じた役割を果たすことが求められている
- 高齢者が生きがいをもって暮らすためには、健康な心身と多様な世代との交流が必要
- 豊かな社会経験を持った高齢者層が、貴重な地域人材として活躍することを期待

大田区の人口構成と65歳以上の高齢者の割合



出典：大田区調べ（平成19年度までは外国人を除く人口）※各年とも1月1日現在の数字

施策の方向性と主な事業

① 高齢者の技術・能力の活用

- ・ 高齢者の経験や知識、技術や能力の活用
- ・ 地域活動に参加するための情報提供や参加のきっかけづくり
- ・ 高齢者の就労意欲に応える仕組みづくり

高齢者の就労促進・起業支援

- ◇ 高齢者就労支援体制の整備
- ◇ 高齢者就労支援センターの開設
- ◇ 地域支援活動への参加促進



② 高齢者の社会参加・ボランティア・交流の促進

- ・ 高齢者の自主的な活動を支援
- ・ 学習機会の場の提供
- ・ 高齢者の多様なニーズに合わせた活動の場、情報提供
- ・ 多様な世代との交流の場づくり

元気高齢者の活動、交流の場の確保

- ◇ 健康遊具公園の活用
 - ・ 公園体操講座の開催
 - ・ 公園体操指導者の育成、自主運営サポート
- ◇ ふれあいサロンの整備支援

③ いつまでも健康に暮らすために

- ・ 生活習慣
- ・ 介護予防
- ・ 就労や社会参加、スポーツ・文化活動などへの参加など、生きがいをもてる施策の推進

介護予防

- ◇ 特定
 - ・ 介護予防基本チェック、通所型介護予防講座、訪問型介護予防個別指導
- ◇ 元気
 - ・ 介護予防講座、公園体操講座、認知症予防講座
- ◇ 指導
 - ・ 公園体操指導者育成講座、介護予防サポーター講座

